

お母さんのひろば

市P連母親委員会は、市内26小中学校PTAの女性代表で構成されています。母親委員会では、興味・関心のあるテーマを協議して、年度ごとの事業を実施しています。

平成26年度の活動を報告します。

【研修会】

日 時：平成26年10月15日（水）

行き先：渋川南部学校給食共同調理場
渋川広域消防本部渋川消防署

参加者：24名

【群馬県PTA大会・家庭教育研究集会】

日 時：平成26年11月29日（土）

会 場：渋川市民会館・市役所第二庁舎

【広報誌】

「お母さんのひろば」（本紙）を年1回、発行しています。



研修会～改めて知る渋川市～

今回の研修先を決める際に、「子どもたちが社会科で見学する市内の公共施設を見たい」「結婚を機に引っ越してきたので、渋川市についてよく知らない」といった意見が挙げられました。そこで今年度は、少し前に静かなブームとなった『大人の社会科見学』というわけではありませんが、『改めて知る渋川市』と題して、南部学校給食共同調理場と渋川広域消防本部渋川消防署へお邪魔しました。

【南部学校給食共同調理場】

平成26年度2学期から配食を開始した新設の給食調理場です。渋川北小・南小・古巻小・豊秋小・西小・渋川中・古巻中の7校へ給食を配送しています。給食を作る過程を見学し、施設についての説明を受けました。

その後、子どもたちが食べているものと同じ給食を試食しました。試食の際には、栄養士の方と意見交換をし、日々、子どもたちの健康と食の安全に配慮いただいていることが分かりました。



▲ 厳重な衛生管理下での調理



▲ 見学はガラス越しでした



▲ お待ちかねの給食の試食

【渋川広域消防本部渋川消防署】

日頃、縁が無い、できれば、ご縁が無いのがありがたい施設です。しかし、災害はいつ起こるか分かりません。そんな中で日夜、市民の安全のため働いている消防署へ行ってきました。

最初に、東日本大震災での渋川広域消防本部の活動について講演をいただきました。実は、4年前の東日本大震災の際に救助活動の緊急要請があり、渋川広域消防本部からも多くの署員が出動しました。未曾有の事態下での救助活動について、映像を交え、お話しいただきました。泥まみれのランドセルを見つけた際には、救助活動中にもかかわらず、泣くのをこらえることができなかったそうです。その方にも同じ年頃のお子さんがいるとのことで、同じく子どもを持つ親として、時には涙無しには見られない場面もありました。

東日本大震災から、まもなく4年…しかし、復興はいまだ進んでおらず、忘れてしまうにはまだまだ早すぎると改めて感じました。

なお、本講演は要望があれば、学校等でも行えるそうですので、皆さまにも是非一度聞いていただきたいと思います。

講演後は、施設内の見学をしました。私たちが119番に電話した際、どのような手順で受理され出動するのかが分かりました。また、間近で見る消防車の迫りに圧倒され、その値段にさらに圧倒されました。

これで、子どもが「社会科見学で消防署見てきた！」と言っても、「私も見てきた！！」と返すことができますね♪



▲ 消防車の助手席まで大公開



▲ 防火水槽の内部も公開

【最後に】

普段は、間接的には用があるけれど、実際にはどんな場所で、どんなことをしているのかよく分からない…。そんな身近なようで縁遠い施設でしたが、行ってみると良い体験になりました。研修を受け入れてくれた施設の方々、ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



▲ 最後に記念撮影

群馬県PTA大会・家庭教育研究集会

11月29日(土)に第60回群馬県PTA大会が市民会館で開催されました。母親委員会は、県P大会の受付係として県内各地からの来場者をおもてなす。大会の様子については、市P連広報紙「かけはし」をご覧ください。



▲ ③ろいの支度でお出迎え